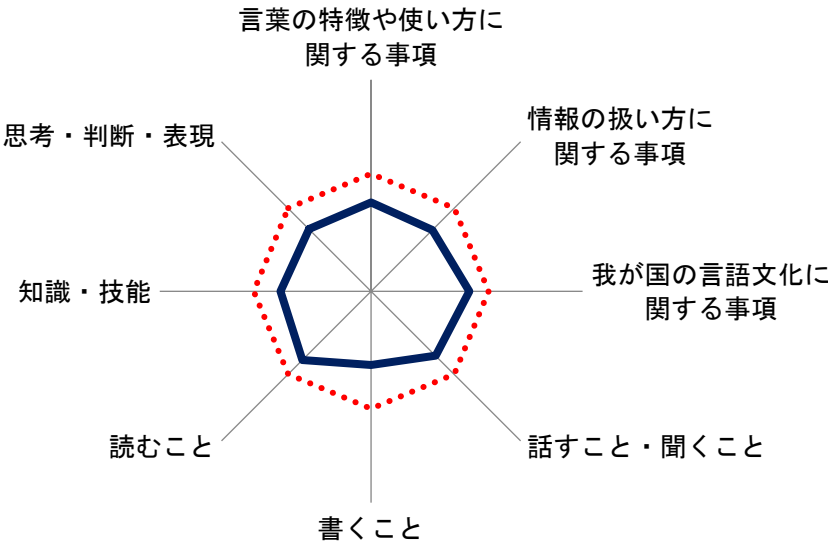


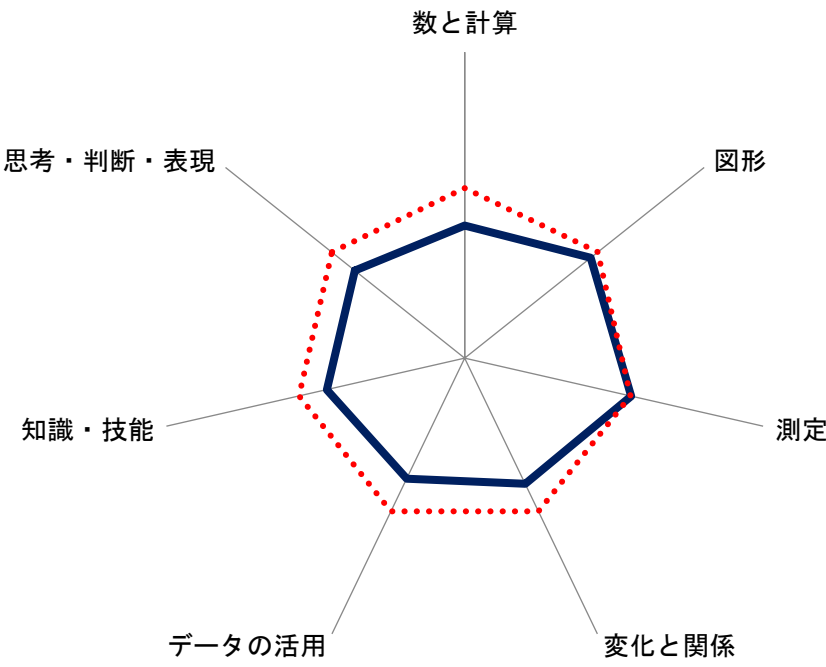
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

— 市平均
..... 全国平均

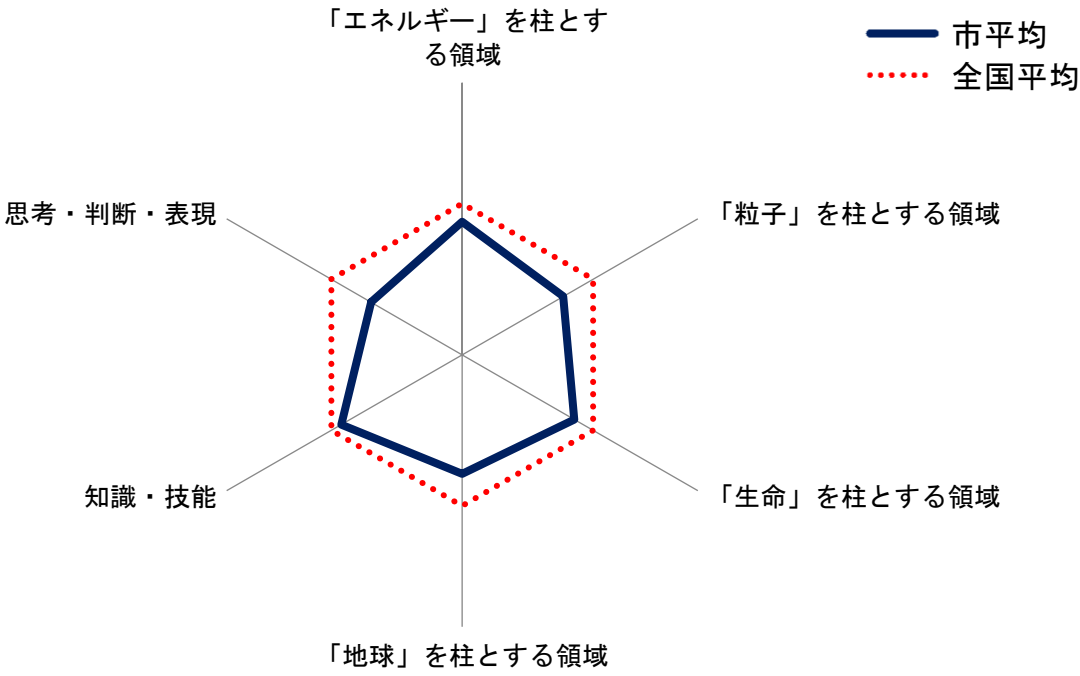


【算数】

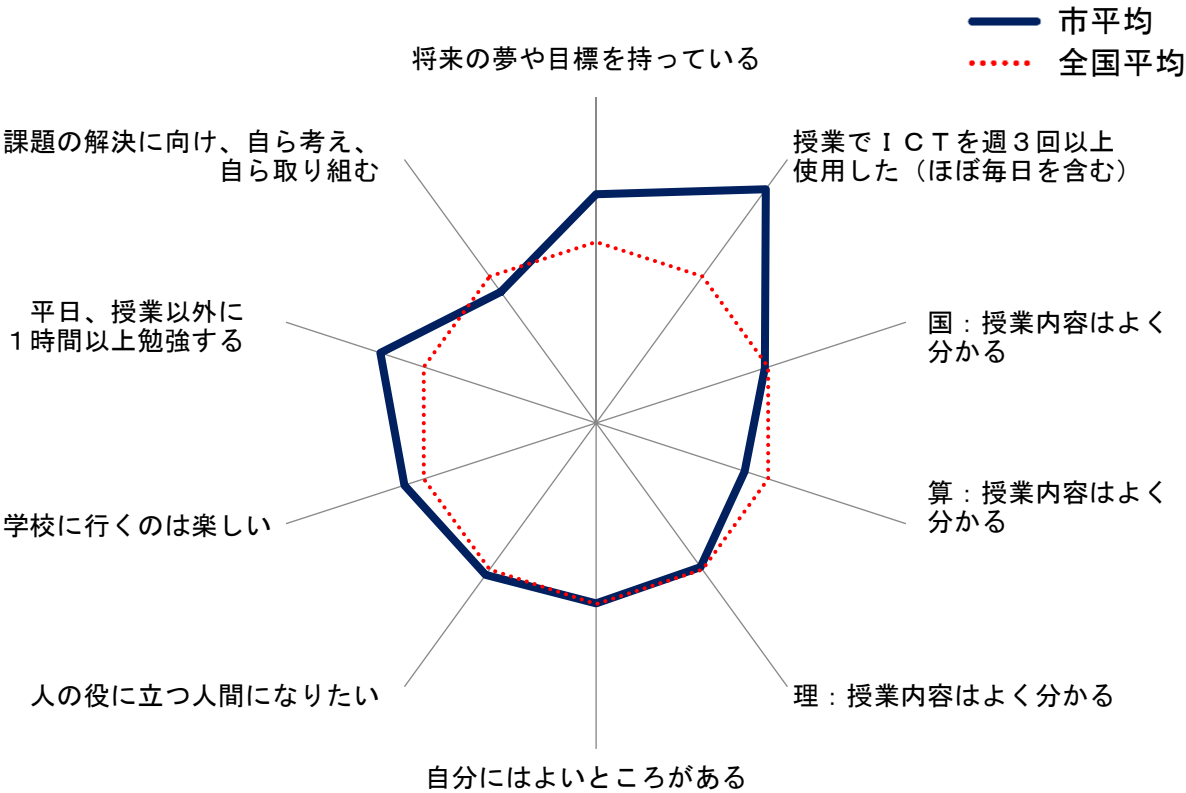


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、算数の「測定」の項目は、全国平均とほぼ同じであるものの、国語、算数、理科においてほとんどの項目が全国平均を下回っている。特に、国語の「書くこと」、理科の「思考・判断・表現」の項目は、全国平均を大きく下回っており、課題である。今後、児童一人一人の結果を詳細に分析するとともに、「分かる」「できる」を実感できる授業の実現に向けた好事例の共有などを継続することで、資質・能力の育成に資する更なる授業改善を推進していくことが望まれる。

児童質問調査では、昨年度全国平均を大きく下回っていた国語の「授業内容はよく分かる」の項目に改善が見られた。また、昨年度に引き続き「将来の夢や目標を持っている」「授業でICTを週3回以上使用した」「平日、授業以外に1時間以上勉強する」の項目が全国平均を大きく上回っており、極めて良好な結果である。今後も、家庭学習が確かな学力向上につながるよう、更なる充実を図るとともに、児童が他者と協働し、自ら学びを調整しながら主体的に問題解決に取り組む授業改善をより一層推進することが望まれる。